



2015 紀の国 わがやま大会
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判副委員長

上土谷 政高

戦評用紙

種 別	知的障害の部 (男子)	会 場	海南市総合体育館
-----	-------------	-----	----------

平成 27 年 10 月 25 日 日 曜日	第 2 日目
------------------------	--------

A	コート	第 3 試合
---	-----	--------

☒ 1 回戦	☐ 準決勝	☐ 交流試合	☐ 3位決定戦	☐ 決勝戦
--	------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	------------------------------

◎試合結果

勝利チーム		25		—	12	
兵庫県		25		—	13	
都道府県・市名				—		
2		0			山口県	
					都道府県・市名	

【審判員】

主 審： 湯川 智晶

副 審： 上土谷 政高

記録員： 喜多 智英

A・S： 福島 千晴 飯屋 千容子

【戦 評】

記載者： 東 正之

第1セットは、兵庫県奥選手のジャンピングサービスで流れをつかむと一気に山口県を突き放した。奥選手、齋藤選手のレフトスパイク、北山選手のバックアタックや奥選手、齋藤選手のブロックなどの攻撃がさえ、一気に逃げ切った。山口県は、南部選手のバックアタックやセッター福田選手のトスフェイントなどで得点を重ねたが、流れをつかむことはできなかった。

流れをつかみたい第2セット山口県の立ち上がりは、南部選手のレフトスパイクとブロックで得点を重ね、互角の展開。しかし、兵庫県青木選手のライトスパイクが連続で決まり、同じく青木選手のジャンピングサーブで一気に流れをつかむと、藤原選手のAクイックが連続で決まり、20点まで得点を重ねた。山口県は、レフト南部選手のスパイクや廣瀬選手のサービスエースで食い下がったが、兵庫県奥選手の連続サービスエースで寄り切った。山口県は南部選手レフト佐々木選手を中心に粘り強く攻撃したが、兵庫県の高い攻撃力、守備力を打ち崩すことはできなかった。